

日本共産党 姫路市会議員団

市会報告2025年第4回定例会

議員団控室 姫路市安田4-1 TEL 221-2046 FAX 284-5890
メール info@jcp-himeji.com

共産党姫路 検索



谷川まゆみ

谷川まゆみ Q

フェイスブック
ブログ



小田きょう子

小田きょう子 Q

フェイスブック
ツイッター

日本共産党 11月議会 の質問から

1 物価高騰対策は全ての 市民に対して公平に行うこと

① マイナンバーカード保有者のみを対象とした ひめじしらさぎ商品券は問題ではないか

小田：しらさぎ商品券は、全ての市民を対象としているにもかかわらず、取得が任意であるマイナンバーカード保有者しか申し込めません。また、スマホがなければ申込も商品券利用もできません。特に、今年度から導入された「xIDアプリ」は使い方が難しく、らくらくスマホなど一部機種では使えません。これらの問題点について、姫路市としてどう考えているのでしょうか。

答弁：本事業は、地域経済活性化を第一の目的として実施してきた。事務の効率化や事務費の抑制を図り、プレミアム原資としてできるだけ多くの資金を市場に還元することを目的とし、マイナンバーカードによる本人確認方法を採用した。「xIDアプリ」の課題に対応するため、コールセンターの設置を検討するほか、アプリの使い勝手の向上を図っていく。

② 全ての市民を対象とした物価高騰対策を

小田：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金は、全市民に対する支援策に活用すべきと考えます。

答弁：市民生活や事業者の事業活動に直結する食料品やエネルギー等、足元の物価高への対応を最優先事項として取り組んでいく。

2 子育てしやすいまちづくりを

① 学校給食費の無償化を

小田：国においては来年度からの小学校の給食費無償化についての議論が始まりました。姫路市として、中学校も給食費無償化を実施すべきと考えます。

答弁：小学校給食費の無償化については、国の動向を注視し、予算編成の中で対応していく。また、本市として中学校の給食費無償化を独自に実施することは考えていない。



② 放課後児童クラブの待機児童解消を

小田：今年度は、5月1日時点で放課後児童クラブの待機児童が255人、特に新1年生が60人もいたことが問題となりました。新年度は、今年度のように多くの待機児童を発生させないことを強く求めます。

答弁：学校の余裕教室や旧幼稚園園舎の活用による実施場所の確保を進めるなど、提供体制の拡充に努めている。新1年生に対してや、今年度待機児童が発生したクラブには、幅広い広報活動に取り組んでいる。

3 市民の福祉を守る市政を

① 全ての市民の医療を受ける権利を守ること

小田：国の事務連絡により、国保の保険料滞納で医療費負担が10割となった世帯から、自己負担が困難だとの申入れがあれば、有効期限の短い通常の資格確認書を発行できるようにしました。この旨を全ての対象者に個別に通知することを求めます。

答弁：特別療養費の支給対象者に対するさらなる個別通知の送付については、現在考えていない。

② 「生活保護は権利」という姿勢を貫くこと

小田：生活保護申請時、必要のない扶養照会が行われたり、お財布の中身を1円単位で確認していることが問題となっています。全ての職員が生活保護は権利という姿勢で対応することを求めます。

答弁：扶養照会については、国の事務連絡に該当する方に対しては、適切に対応している。財布の中身の確認については、申請者の申告に基づいて記入いただいており、財布の中まで確認を求めるような対応は行っていない。

担当職員の対応姿勢については、質の向上、適正な実施を確保する。

「2026年度予算編成に対する要望書」提出

私たち議員団は、去る11月21日、清元市長宛に新年度の「予算編成に対する要望書」を提出しました。井上副市長が対応され、12項目に渡り要望しました。その主な項目は、以下の通りです。

■ 手柄山平和公園に名称変更したこと及び手柄山平和公園駅に命名されたことを生かし、更に平和行政を前に進めること。

■ 全ての市民を対象にした物価高騰対策を行うこと。特に、プレミアム付き商品券の発行にあたっては、全ての市民を対象にするとともに紙ベースでも行うこと。

■ 加齢性難聴者に対する補聴器購入助成制度の導入と独自の交通系ICカードなどの導入で山電等の交通費助成を復活させること。

■ 小中学校の統廃合については、「学校地域協議会」を設置し、「統廃合」を含めて、ていねいな議論を行うとともに、まちづくりについての説明責任を果たすこと。

井上副市長との懇談において、平和行政については、前向きな意見交換が行われました。また、加齢性難聴者への補聴器購入助成については、兵庫県下では既に21自治体の実施されて

いることも伝え、本市においても早急に実施するよう強く求めました。引き続き、市民の暮らし応援の立場で予算要望してまいります。



井上副市長に要望書を提出する
谷川・小田議員

議案第140号 姫路市放課後児童クラブ 条例の一部を改正する条例について反対 物価高騰から市民生活を守れ

改正の理由

放課後児童クラブの運営に要する人件費及び物件費の高騰を踏まえて、支援員等を確保するとともに児童の生活に必要な備品等の充実を図ることその他の諸課題に対応するためには、運営費を確保する必要があること、及び放課後児童クラブの運

営費に対する利用者の負担割合が、国が目安として示す50%を大きく割り込んでおり、利用者の応益負担の観点から負担金等の見直しを行う必要があることから、放課後児童クラブの利用者負担金の金額を引き上げようとするものです。

■ 改正の内容

	改正前	改正後
利用者負担金月額 (8月以外)	7,000円	9,000円
8月利用者負担金	10,000円	12,000円

※半月のみ利用する場合は、それぞれの半額となる。

■ 2026年度の経過措置

利用者負担金月額 (8月以外)	8,000円
8月利用者負担金	11,000円

※半月のみ利用する場合は、それぞれの半額となる。

利用者負担金引き上げは
子育て支援に逆行！



反対の理由

今、米価の高止まりを始め、毎月多くの食料品等の値上げが、市民生活を直撃しています。その一方で、賃金の引き上げが物価上昇に追いついていません。10月の実質賃金はマイナス0.7%で10カ月連続のマイナスとなっています。このような時、子育て世代に対して、負担増を求めることは、子育て支援に逆行す

るものです。

また、施行規則において、減免対象を就学援助世帯から市民税非課税世帯に見直しを予定しており、減免対象が縮小されることになります。

これらの理由により、この議案に反対しました。

■ 姫路市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例について各会派の態度

日本共産党	公明党	市民クラブ	自由民主党	新生ひめじ	日本維新の会	姫路無所属の会	改革無所属の会	志政会
×	○	○	○	○	○	○	○	○



国の重点支援地方交付金等による 姫路市の物価高騰対策

1 物価高対応子育て応援手当

物価高の影響を強く受けている子育て世帯を支援し、こどもたちの健やかな成長を応援する観点から、18歳以下のこども1人当たり2万円を支給します。

【スケジュール】

1月下旬 対象者への通知発送
2月上旬 受給辞退及び口座変更申出の受付
2月中旬～ 支給開始

2 物価高騰対策給付事業

長期化する物価高騰による生活費の負担軽減のため、全市民を対象に1人当たり5,000円分のプリペイド型ギフトカードを給付します。これは、私たち議員団が一貫して求めてきた「全市民を対象とした物価高騰対策を」が実現した形となりました。実施までのスピードや事務手数料、事務にかかる仕事量

などを勘案し、プリペイド型ギフトカードにしたとのことです。カードについては、より広く利用でき、一番使い勝手の良いものを選定するとのことです。

【スケジュール】(予定)

発送期間 2026年4月～順次発送
利用期間 2026年4月～12月

常勤特別職・市議会議員の 期末手当を引き上げる 議案に反対

私たち議員団は、市長、副市長及び教育長など常勤の特別職及び市議会議員の期末手当の年間支給月数をそれぞれ0.05月引き上げ、現行の4.6月から4.65月にする議案に反対しました。

姫路市の市長及び市議会議員の期末手当は西播磨5市6町の中で最も高く、また、中核市の中でも高額となっています。

今、物価高騰が市民生活に深刻な影響を与えています。毎月のように食料品が値上がりし、主食の米の値段も高止まりのままです。多くの市民は物価高騰に見合った賃金、年金の引き上げが行われていません。これらの社会情勢から、一般職の給与等の引き上げを行っても、特別職や議員の期末手当の引き上げは見送る自治体も出ています。

このような中で姫路市の常勤の特別職及び市議会議員の期末手当を引き上げようとするのは、市民的理解は到底得られないため、反対しました。